

2020/1/24

神代植物公園

植物多様性センターの「暖冬の影響？」

暖冬で、当センターの植物達にも影響が出ているようです。落葉樹のナツグミやノイバラの葉が落ちず、イソギクやカワラナデシコ、ナギナタコウジュなどの花は年を越して1月中旬になっても一部残っていました。また、オオイヌノフグリやヤハズエンドウなどの春の花で気の早いものは咲き始めています。開花に一定の寒さが必要なウメやサクラはどうなるのかなと思います。どちらも東京では平年並か早めに咲くという開花予想が出ているようです。今後も暖かい日が続く予想になっているので、植物の成長がどうなるのか、皆様も観察してみてくださいはいかがでしょうか？



ナツグミにまだ緑色の葉が付く。



イソギク

カワラナデシコ

寒さで枯れるはずの花が残っている。



オオイヌノフグリ

ヤハズエンドウ

日当たりの良い場所は一足先に春の雰囲気。



ウメの花芽が少しづつ膨らんできた。